

令和2年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書(案)

(公財)駒ヶ根市文化財団

# 公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

## 令和2年度 事業計画概要

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興が図られるよう努めてまいります。

なお、今年度、市指定管理者として指定期間が満了いたしますが、引き続き指定を受けるべく、指定申請をしております。今後も、自己改革の手を緩めることなく、皆様の期待に応えられるよう、なお一層の資質向上を図ってまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

#### 1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館、勤労青少年ホーム及び女性ふれあい館からなる総合文化センター全施設の融合を図るとともに、市内の社会教育関係機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切にし、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

令和2年度も引き続き、当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組み、新年度隣接地に建設される「地域交流センター(赤穂公民館)」と、連携を図ってまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう計画的に改修等を実施するとともに、長期改修(リニューアル)計画の見直しを図ってまいります。

#### 2 文化会館

- \* 芸術関係各分野の有識者・見識者からの提言や利用者アンケートを基に事業演目を選別し、優れた芸術文化鑑賞の機会を安価で市民に提供します。
- \* 地元で文化活動を展開されている方や地元出身演奏家による公演を開催し、有名人の鑑賞公演だけではなく、地元で活動されている方や、地元出身でこれからの活躍が期待される皆さんを応援する企画を設けます。
- \* 施設の貸与については、公益性の高い市民参加の行事等は優先的に受け付けるなど、市民が利用しやすい体制と親切な対応に努めます。ホールの舞台運営については、引き続き安全第一をモットーに取り組みます。
- \* 隣接地に開館する「地域交流センター(赤穂公民館)」の開館事業を市教育委員会や赤穂公民館と共同して実施します。また、地域交流センターを含めた一帯が、さらに文化活動の源泉となるよう計画してまいります。

### 3 図書館

- \* 駒ヶ根市立図書館の全体像や願っている姿が明確になるような CONCEPT の策定と利用者への周知を図り、顔の見える図書館運営を目指します。
- \* ヤングアダルト世代の読書離れ、少子高齢化社会におけるシニア世代の「生きがいづくり」等の現代的な課題を踏まえ図書館の更なる可能性を探ります。
- \* 図書館運営に関わるボランティア「図書館応援団」を広く募集し、「市民の生きがいづくり」に貢献すると共に図書館運営の効率化を図ります。
- \* 郷土資料、行政資料の積極的な収集と整理、竹村文庫、加島文庫の継続整備作業を進めます。
- \* 「第三次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画」を中心とした乳幼児から小学生を対象とした事業を積極的に推進します。
- \* レファレンス、各種コーナー展示等利用者サービスを充実させ、地域から信頼される生涯学習の拠点施設を目指します。
- \* 公共図書館と市内小中学校(図書館)との連携を深め、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を支援します。[「図書館を使った調べる学習コンクール」の実施]
- \* 分館運営活性化委員会を立ち上げ、中沢分館、東伊那分館の更なる効率化・活性化を目指します。
- \* 駒ヶ根市立図書館の取り組みを「駒ヶ根市立図書館 CONCEPT」に照らして総合的に評価してもらい評価方法、「QOKL」(Quality of Komagane Library)を策定します。

### 4 博物館

- \* 収蔵する約 125 千点の民俗・考古・歴史・自然資料の適正保存に努めるとともに、その有効活用を検討し、公開展示、教育普及事業を実施します。また、資料収集を継続的に実施し、貴重な資料が廃棄・処分されないように啓蒙活動を実施していく。
- \* 関係機関や市民研究団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解、保存の意識の高揚に努めます。
- \* 市内芸術家で構成される「駒展実行員会」と連絡・協調を高め、「駒展」をより充実させていく。また、同時開催の「ジュニア駒展」を充実させていくために、市内小中学校との連携をより深め、児童・生徒の芸術活動の推進を図ります。
- \* 郷土館・旧竹村家・民俗資料館の展示内容や今後の活用について、関係機関と検討を重ねていきます。
- \* 市内文化財(人文系・自然系全般)の調査研究活動をより充実させ、平成28年度に一新した専門研究員の活動を充実させるとともに、博物館活動の情報発信の手段としての博物館報を充実させる。

### 5 勤労青少年ホーム・女性ふれあい館

- \* 伊南地区在住・在勤の方(学生は除く)と女性の皆様を対象とした講座を年間を通じて約15講座、受講者数200名を目標として開設します。若年層を対象に、仕事終わりや休日にリフレッシュができるスポーツ・アウトドアなどの講座、子育て中のお母さんが家庭の外に出て気分転換できるよう、小さなお子様とも一緒に参加できる講座、また、余暇を使い趣味・技

能・健康づくりの講座など、継続する講座と市民ニーズを把握しながら、新規講座の立ち上げに努めます。

- \* 勤労青少年及び女性の自主的なサークル活動を支援するために、活動が円滑に行える環境づくりと必要に応じて助言指導にあたります。また「利用者の会」を組織して、世代を超えた利用者相互の交流を促し、社会貢献活動にも取り組めるよう配慮します。
- \* 貸館利用を含めた年間利用者数の目標を 25 千人とします。

## 6 天竜かっぱ広場

- \* おもしろかっぱ館が所蔵する河童の諸作品や諸資料を生かした、親しみやすい展示を実施します。また、他の教育機関や観光・産業施設などと連携して、入館者の増加を図ります。天竜かっぱ広場の管理を適切に行い、多くの市民の皆さんが利用できるようにします。年間有料入館者の目標を 2,000 人とします。
- \* 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族のきずなを強め、地域コミュニティの充実を図れるよう、特別展、ふれあい講座、ミニほっと講座を開催します。伝説と歴史を語り伝え、郷土の文化・歴史・自然を楽しく学んでいただく事を目指します。
- \* 地域住民組織や観光協会と連携しながら、竜東の玄関口にある立地の良さを活かして、地域行事、体験交流型イベント及び観光案内に協力・参画し、地域振興に貢献できるよう取り組みます。また、プチ観光案内所として、特に竜東地区の観光案内に努めます。

## 7 財団奨励賞

- \* 平成 15 年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。また、青少年の文化芸術振興を図るため「ジュニア駒展」について、駒展実行委員会と共に、継続実施してまいります。

## 8 その他

- \* 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」は、こまかっぱ噴水施設が設置された事をふまえながら公園全体の景観整備を図ります。
- \* 施設、設備の適切な管理・保全に努めます。

令和2年度 駒ヶ根市文化会館「自主事業(主催・共催事業)計画」(案)

入場者以外単位/円

月日	開催種類	演目	共催団体	共催内容 会場料・備品料 免除	支出		収入		収入合計	収支	目録入場者ほか ( )共催団体主催公演
					種類	当初予算 (人件費除く)	うち出演料	観覧料			
6/7	共催	33回駒ヶ根郷土芸能まつり	実行委員会	2日間全額	負担金	200,000	0	0(無料)	0	200,000	(600)
7/3	共催	第19回アンサンブル信州in宮田 同上 小中学生鑑賞教室	実行委員会	2日間全額	なし	0	(先方負担)	0 (チケット売上金先方)	0	0	(700) (学生700)
7/26	共催	稲川淳二の怪談ナイト	信越放送・FOB企画	1日全額	諸経費	50,000	(先方負担)	売上金先方	0	50,000	(800)
8/21	共催	セイジ・オザワ松本フェスティバル「スクリーンコンサート」	松本市・栗市	1日全額	負担金	500,000	なし	0(無料)	0	500,000	400
10/8予定	主催	劇団四季こころの劇場「Bridge 歌の架け橋」	オフィスまゆ		出演料	7,400,000	6,000,000	5,900,000	20,000	1,480,000	800
11月中	主催	劇団四季こころの劇場(小学生鑑賞教室)			諸経費	300,000	(先方負担)	0(招待)	0	300,000	(児童700)
11/8	共催	駒ヶ根高原音楽祭(仮称)	オペラ王国社(佐野成宏事務所)	2日間全額	負担金	200,000	(先方負担)	0(売上金先方)	0	200,000	(500)
11/29	共催	第61回駒ヶ根市民音楽祭	実行委員会	2日間全額	負担金	200,000	0	0(無料)	0	200,000	(800)
未定	共催	天童よしみコンサート	イベント会社	1日全額	負担金	2,000,000	(先方負担)	400,000	30,000	1,570,000	700
未定	共催	信毎駒ヶ根文化講演会	信濃毎日新聞社	1日全額	負担金	1,300,000	1,200,000	0(無料)	20,000	1,280,000	900
未定	主催	駒ヶ根落語会	(浅草演芸ホール)		出演料	2,600,000	2,200,000	1,640,000	20,000	940,000	650
未定	主・共催	・コンサート等(地元で活動中の方や地元出身グループ等を取り上げる) 候補/FAITH、北澤ユウジ(ロビーコンサート)、小林ルイ、和田浩志、ほか ・公民館ホール開館記念事業/地元活動者の合同演奏会など	地元文化団体共催事業	期間中全額	出演料	全ての上限 2,000,000		250,000	10,000	1,740,000	1,000
3年2月	共催	(劇団サムライナイツ/演目未定)	劇団サムライナイツ	(1週間全額)	(負担金)	未定(200,000)	(先方負担)	0	0	(200,000)	
12/20	共催	日色ともえ朗読劇	伊南子ども劇場	1日全額	負担金	200,000	(先方負担)	0	0	200,000	
未定	共催	演目未定	駒ヶ根音楽文化協会	1日全額	負担金	200,000	(先方負担)	0	0	200,000	
通年		各事業共通経費・その他収入				1,000,000		230,000	50,000	720,000	
通年	友の会	文化会館友の会事業(観劇ツアー他/内容検討)			諸経費	800,000		580,000	220,000	ツア-20	
通年	講座	ジュニア和楽器		月2回通年全額		0	0	0	0	受講生20	
支援事業	支援	開館30周年記念事業/3年間実施したため終了 内容:地元文化団体の支援(会場料2日間全額免除・チケット販売手数料免除、応募団体/劇団サムライナイツ、駒ヶ根市民吹奏団、混声合唱団明日歌)									
合計						19,150,000		8,420,000	730,000	9,150,000	10,000,000

変更点・改正点・その他

1. 劇団四季/新四季劇場開館記念で作られる新作のため実施(初演)
2. 地元演劇団体「アクトア-ズゼミナール」と「劇団サムライナイツ」が隔年交代で公演を実施することによる共催事業・補助金の統一(共催)  
※ サムライナイツの会場料や金額は未定・検討(一部営利事業があるため)
3. 地元活動者や地元出身者の応募事業の開催(主催/基本的に新しい方たち)
4. 教委・公民館と連携しての公民館ホール「開館記念事業」の実施
5. クラシック分野を担ってきていただいた「音楽文化協会」の運営が困難になってきたことに伴う、今後のクラシック公演の検討

文化会館友の会(元年度期間/元年10月~2年9月)	区 分	収入	
		事業収入	受託収入
会員数 (元年度)277名入会(1月現在)			
特典利用			
観劇ツアー	当初予算(人件費等除く)	9,150,000	10,000,000
	現在決算額	0	0
	予算との差額		
H29年度末残高		7,002,000	
H30年度末精算額(取崩し)		△ 3,641,000	
H30年度利子積立		2,000	
H30年度末残高		3,363,000	

市文化振興基金

区 分	支出	収入
市一般財源予算額		10,000,000
受託収入内訳		
精算額(文化振興基金分)		

# 令和2年度 駒ヶ根市立図書館 事業計画概要（案）

（本館、中沢・東伊那分館、学校図書館）

1. 駒ヶ根市立図書館の重点施策
  - ◆ 駒ヶ根市立図書館の全体像や願っている姿が明確になるような CONCEPT の策定と利用者への周知を図り、顔の見える図書館運営を目指す。（令和の時代に相応しい図書館の創造）
  - ◆ 業務の精選と取り組みの集約化を通して図書館利用者の利便性を向上すると共に職員の働き方改革にもつなげていく。
  - ◆ 中沢・東伊那分館、市内小中学校図書館との連携を密にして読書活動の更なる活性化を図る。
  - ◆ ヤングアダルト世代の読書離れ、少子高齢化社会におけるシニア世代の「生きがいづくり」等の現代的な課題を踏まえ図書館の更なる可能性を探る。
  - ◆ 図書館運営に関わるボランティアを広く募集し、「市民の生きがいづくり」に貢献すると共に図書館運営の効率化を図る。
2. 資料の収集と提供
  - ◆ 郷土資料、行政資料の積極的な収集と整理、閲覧提供
  - ◆ 竹村文庫、加島文庫の継続整備・登録作業
3. 「第三次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画（H30～R4年度の5ヶ年計画）」を中心とした事業の実施
  - ◆ 「駒ヶ根市子ども読書習慣形成の6つの柱」の積極的な実施
  - ◆ 市内小中学校、高等学校と連携して「学びのプラットフォームとしての調べる学習コンクール」の実施
  - ◆ 乳幼児から小学生を対象にした「おはなし会」の実施、お出かけ図書館（市内各施設へ及び市内各施設から）の実施
4. 利用者サービスを充実させ、地域から信頼される生涯学習の拠点施設を目指して
  - ◆ レファレンス業務充実のための職員研修、選書・蔵書構築に関わる専門性向上研修
  - ◆ 各種コーナー展示やテーマ別配架に積極的に取り組み、利用者の利便性向上を図る。
5. 関係機関との連携・協力強化
  - ◆ 公共図書館と市内小中学校（図書館）との連携を深め、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を支援する。
  - ◆ 社会福祉協議会、民生委員等と連携し、多様な世代の読書（学び）ニーズに応える活動に取り組む。
6. 「また行きたい、もっと居たい、気持ちの良い図書館」を目指して
  - ◆ 老朽設備の順次更新（読書の雰囲気コーディネートする図書館）
  - ◆ 中沢分館、東伊那分館の館内設備順次更新、資料の見直しと充実（分館運営活性化委員会の立ち上げと運営の活性化）
7. 新たな評価項目の策定
  - ◆ 駒ヶ根市立図書館の取り組みを「駒ヶ根市立図書館 CONCEPT」に照らして総合的に評価してもらう評価方法⇒「QOKL」（Quality of Komagane Library）の策定
8. その他
  - ◆ 「雑誌スポンサー制度」「図書館施設スポンサー制度」等各種スポンサー制度の充実（令和元年度：契約団体数 15、寄贈雑誌26誌）

# 令和2年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

## 1 展示事業

従来通りの博物館企画による展示と一般市民（団体・個人）の共催事業として実施する展示を通し、市民へ文化・芸術活動の情報の発信を行っていく。

### ・博物館主催による企画展の実施

#### ア 第19回「駒展」・第5回「ジュニア駒展」 同時開催

- ・ジュニア駒展作品選考に美術担当教諭に相当の負担をかけている。開催時期を一週間後ろにずらして開催する。（11月14日～29日まで）
- ・ジュニア駒展は元年度展示点数（38点）と同じ作品数。
- ・駒展は高校生の県展入選者を本年度同様出品者として展示する。

#### イ 博物館企画展：登戸研究所調査研究会の調査結果と今までの資料を展示

- ・戦後75年を経過した区切りの年であり4月上旬から8月末まで展示入替を行いながら実施（かっぱ館共同開催）「登戸研究所調査研究会共催」

#### ウ 館収蔵品の公開と情報発信のための企画展の開催

#### エ 市内出身の通学者が多数通学する高等学校の文化部・芸術部へ呼びかけ、「卒業記念展」「文化芸術展」等の誘致を検討する。

### ・博物館共催事業

市内及び近隣市町村で活躍する文化・芸術団体及び個人の活動発表の場と展示室及びロビーでの展示の充実を図る。

## 2 教育普及活動

- ・「古文書初心者講座」・「郷土を知る会」・「登戸研究所調査研究会」を継続実施する。「古文書研究会」は2講座と減少。初心者講座に全くの初心者と数年継続の受講生が混在しているので意向確認の上、分離出来ないか検討する。
- ・博物館専門研究員による各種団体の研修への講師の派遣や文化財見学などへの資料提供や案内の充実を図る。
- ・学校教育と積極的に関わり、資料の貸し出し、展示物の解説・案内などを通じ、郷土への興味や愛着を図る。

## 3 資料収集及び整理

- ・博物館報（第5集）の発行により、令和2年度の博物館活動、専門研究員の調査研究実績、企画展示内容の情報発信等の実施。
- ・御岳白尾テフラ（鼠川テフラ及び南田島テフラ）の現地確認の継続と周知活動
- ・中央アルプス国定公園化（3月認可予定）に伴う専門研究員による関連調査  
国定公園認定後の観光客、温暖化による動植物生育環境・地質環境の変化を調査
- ・中央構造線、赤石構造帯（南アルプスジオパーク）露頭視察の継続実施
- ・南アルプスにおける鍾乳洞調査等

## 4 その他、文化財関連事業

- ・駒ヶ根市指定文化財に関わる調査への協力。（文化財審議会等への協力）

◎働く青少年及び女性に対して、日々の余暇を利用し、憩いやスポーツ・レクリエーション・文化教養等、余暇活動の場を積極的に提供し、身近で使いやすい施設を目指すとともに、社会人・職業人としての役割を積極的に果たすための、知識や能力を体得する場としての機能を持つことをねらいとする。

ホームの理念 『学び—憩い—集い—社会参加』

## 1 主催講座の開催

- ・勤労青少年・勤労女性の福祉向上に役立つ支援を行う。（相談・子育て支援等）
- ・職能取得、一般教養、趣味、健康、スポーツ等の内容で、ニーズをさぐりながら講座を開設する。
- ・春から秋にかけておよそ15講座を開設し、よりスキルアップできる様、例年より1講座あたりの開催期間と回数を増やす。（受講生アンケートからの要望）
- ・女性ふれあい館の特徴である託児制度を利用し「おやこ遊びリトミック」「ママビクス」「エアロビクス」、お菓子や雑貨づくり講座などを、育児中のお母さんがリフレッシュや交流してもらう機会として開設する。

## 2 サークル（クラブ）の育成

- ・35サークル（クラブ）の利用室の調整等、明るく・楽しく・元気良く、活動しやすい場（会場）の提供、サークル内で起きた問題等の相談、また最近ではサークルメンバーの高齢化が目立つので、活動を継続出来る様に助言や協力を行う。
- ・一年間の学習の成果として、勤労青少年ホーム・女性ふれあい館合同での発表の機会（文化センターホーム祭）を設ける。
- ・主催講座からサークル（クラブ）へ移行できる様、助言、フォローを行う。

## 3 利用者の会支援

- ・会員数 約320名

役員及びサークル代表者を中心として世代を超えた相互の交流を深め、全会員が協力し合って、元気で主体的に運営できるよう支援する。

赤穂公民館文化団体協議会との連携を図りながら、利用者への支援を行う。

○事業内容

- ・全館清掃（6月実施）
- ・文化センターホーム祭（11月）
- ・活動記録「なかま」の編集発行（3月）
- ・女性ふれあい館の視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・勤労青少年ホームの視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・その他、サークル交流会(随時)等の実施



## 令和2年度 おもしろかっぱ館 事業計画

### 主な事業計画

#### 1. 展示

- (1) 常設展 1、2Fギャラリー・1Fかっぱの妙薬展示室・2Fかっぱの妙薬DVD
- (2) 特別展「わが河童の故郷に陸軍登戸研究所がやってきたⅡ！」(4月1日～21年3月28日)
  - ・駒ヶ根市博物館登戸研究所調査研究会のご協力ご支援のもと開催します。
  - ・オープニングセレモニーを4月 日に博物館と共同開催します。(会場 博物館)
- (3) 休館日に於ける開館 事前に申し込みがあれば、団体のお客様に限り開館します。
- (4) その他
  - ①天竜かっぱ祭り応募ポスター展示(昨年度28点)

#### 2. 講座

- (1) ふれあい講座 11 講座計画します。  
日程・講師の変更があります。

日程未定	曜日	講座内容	対象	講師	時間	定員	会場	
5月16日	(土)	かっぱ館周辺の植物について(雑草学入門)	親子・一般	伊藤一幸	13時	25	かっぱ館	
6月6日	(土)	大宇宙のお話(宇宙論入門)	一般	日岐敏明	13時	25	かっぱ館	
7月25日	(土)	中央アルプスの国立公園化について	一般	下平真樹	13時	25	博物館	共催
8月1日	(土)	昆虫採集と標本の作り方	親子・一般	田中邦治	9:30	25	博物館	共催
9月19日	(土)	夏の星座・木星、土星観察会	親子・一般	日岐敏明	18時	25	かっぱ館	
10月31日	(土)	柿酢を作ってみませんか?	一般	宮下満智子	13時	25	かっぱ館	
11月28日	(土)	歴史編 731部隊の体験報告	一般	清水英男	13時	30	かっぱ館	
12月19日	(土)	駒ヶ根魅力発信プロジェクトの話	一般	宮下学	13時	30	かっぱ館	
1月30日	(土)	地域支え合いネットの話	一般	森保茂	13時	30	かっぱ館	
2月27日	(土)	薬草学習	一般	薬剤師会	13時	25	かっぱ館	
未定	未定	歴史文学編 小林勇さんについて	一般	今井康之	未	未	図書館	共催

未定

- (2) ミニほっと講座
  - ・かっぱ館を一人でも多くの皆様にご覧いただき、地域の交流の場として活用を図る為、簡単な手芸、フラワーアレンジ等の講座を行う。

#### 3. 運営委員会

- 委員会開催5月8日(金) 18:30を予定します。
- 日帰り研修旅行の実施 諏訪の伝説(神長官守矢資料館・諏訪大社を中心に、)を予定します。
- 委員会ニュース発行(年2回)を予定します。

#### 4. 地域社会との連携

- (1) 第32回天竜かっぱ祭りの開催に貢献する。 8月22日(土)開催予定
- (2) ホタルとアヤメの里づくりの会による「ホタルの里」づくりをすすめる。
- (3) ふれ愛なかっぱ市の開催に貢献する。
- (4) 天竜かっぱウォーキングの開催に協力します。
- (5) フットパス・ジャンボリーの開催に協力します。
- (6) 地域保健課の健康ステーション活動に協力します。
- (7) 地域保健課のポールウォーキング開催に協力します。
- (8) その他 地域振興に資する取り組みに協力する。